

精神障害者福祉

県から市に業務移管

サービスへの影響と対応聞く

議員 十四年四月から精神障害者福祉施策が市に移管されることで、障害者福祉施策のサービスの量と質について、どのような見通しをたてているのか課題を含め伺いたい。

健康福祉部長 障害者の福祉サービスには施設サービスと在宅サービスがあるが、精神障害者施設は市内にはなく、施設の増設は、国における課題となっている。在宅サービスについては、サービスの中心となるホームヘルプサービスを社会福祉

議員 十四年四月から精神障害者福祉施策が市に移管されることで、障害者福祉施策のサービスの量と質について、どのような見通しをたてているのか課題を含め伺いたい。

健康福祉部長 障害者の福祉サービスには施設サービスと在宅サービスがあるが、精神障害者施設は市内にはなく、施設の増設は、国における課題となっている。在宅サービスについては、サービスの中心となるホームヘルプサービスを社会福祉

議員 現在、身体障害者・知的障害者に行われている福祉サービスが精神障害者にも求められるが、負担等の増大につながるという財政上の問題、また、長期に及ぶ施設生活者が多く出てくるという懸念がある。真に人が必要な方を正確に把握し、基本的には在宅介護を中心とした介護保険制度の定着を図っていききたい。

議員 特別養護老人ホームに介護保険制度の定着を図っていききたい。

議員 特別養護老人ホームに介護保険制度の定着を図っていききたい。



大人と子供がふれあうイベント（湘南さくらフェスティバル）

議員 センターの設置について、十四年度当初予算には計上されなかったが、なぜ先送りとしたのか、地域で支える市民参加が必要であるため今後ファミリーサポートセンターの運営方法、設置場所、連携の方策等十分検討を進めながら、早期実現に向けて努力していく考えである。

議員 運営方法に対する国の考え方の変化について聞きたい。

健康福祉部長 最初の国の実施要綱では、実施主体は市町村と公益法人を中心とした展開であった。しかし、十三年四月からは、実施主体が市町村に限定され、公益法人には運営を委託することができる形に変わった。そのような中で、昨年センターを立ち上げた市町村の中には直営方式で運営を行っているところもできている。

議員 センターの設置について、十四年度当初予算には計上されなかったが、なぜ先送りとしたのか、地域で支える市民参加が必要であるため今後ファミリーサポートセンターの運営方法、設置場所、連携の方策等十分検討を進めながら、早期実現に向けて努力していく考えである。

議員 運営方法に対する国の考え方の変化について聞きたい。

健康福祉部長 最初の国の実施要綱では、実施主体は市町村と公益法人を中心とした展開であった。しかし、十三年四月からは、実施主体が市町村に限定され、公益法人には運営を委託することができる形に変わった。そのような中で、昨年センターを立ち上げた市町村の中には直営方式で運営を行っているところもできている。

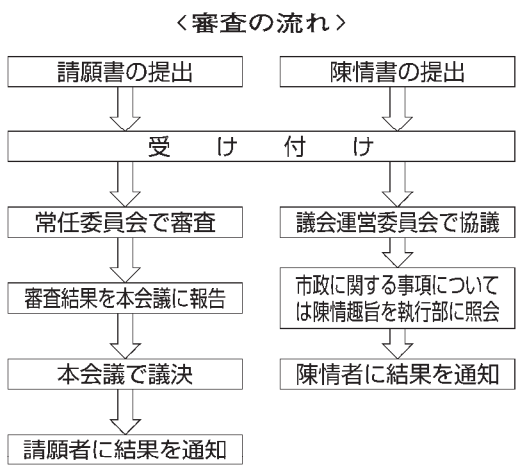
請願・陳情のてびき

市民が市政について、意見や要望がある時はだれでも議会に請願や陳情を提出することができます。請願には議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。

請願および陳情書の提出に当たっては、日付、住所、氏名（団体名・役職名）、押印およびあて先（平塚市議会議長〇〇〇〇）の記載が必要です。

請願の提出締切りは、各定例会とも本会議第2日目の午後5時までとなっています。一方、陳情は各定例会でおおむね3回開催される議会運営委員会の2日前（土・日曜日、祝日を除く）までとなっています。

なお、提出された請願・陳情はすべて全議員にその写しを配付しています。



レクリエーション風景（豊田デイサービスセンター）

議員 特別養護老人ホーム入所者の要介護度別の人数と入所待機者数について伺いたい。

健康福祉部参事 十三年十一月末の入所者数は、四〇八人であり、要介護度別の内訳は、要介護一と二が二〇％、要介護三と五が八〇％である。また、入所待機者は、十三年十月現在で約四〇〇人

議員 複雑、多様化している就労環境・生活環境の中で、子供を持つ家庭を地域で支えることは、大切と考える。そこで、「ファミリーサポートセ

議員 複雑、多様化している就労環境・生活環境の中で、子供を持つ家庭を地域で支えることは、大切と考える。そこで、「ファミリーサポートセ

議員 複雑、多様化している就労環境・生活環境の中で、子供を持つ家庭を地域で支えることは、大切と考える。そこで、「ファミリーサポートセ

議員 複雑、多様化している就労環境・生活環境の中で、子供を持つ家庭を地域で支えることは、大切と考える。そこで、「ファミリーサポートセ

議員 複雑、多様化している就労環境・生活環境の中で、子供を持つ家庭を地域で支えることは、大切と考える。そこで、「ファミリーサポートセ

議員 複雑、多様化している就労環境・生活環境の中で、子供を持つ家庭を地域で支えることは、大切と考える。そこで、「ファミリーサポートセ

議員 複雑、多様化している就労環境・生活環境の中で、子供を持つ家庭を地域で支えることは、大切と考える。そこで、「ファミリーサポートセ

議員 介護保険制度は、定着化の傾向にあると聞くが、介護施設の市民の利用率は現在どのくらいなのか伺いたい。

健康福祉部参事 介護施設は広域利用できるが、本市認定者の利用状況は、

議員 特別養護老人ホーム入所者の要介護度別の人数と入所待機者数について伺いたい。

健康福祉部参事 十三年十一月末の入所者数は、四〇八人であり、要介護度別の内訳は、要介護一と二が二〇％、要介護三と五が八〇％である。また、入所待機者は、十三年十月現在で約四〇〇人

議員 特別養護老人ホーム入所者の要介護度別の人数と入所待機者数について伺いたい。

健康福祉部参事 十三年十一月末の入所者数は、四〇八人であり、要介護度別の内訳は、要介護一と二が二〇％、要介護三と五が八〇％である。また、入所待機者は、十三年十月現在で約四〇〇人

議員 特別養護老人ホーム入所者の要介護度別の人数と入所待機者数について伺いたい。

健康福祉部参事 十三年十一月末の入所者数は、四〇八人であり、要介護度別の内訳は、要介護一と二が二〇％、要介護三と五が八〇％である。また、入所待機者は、十三年十月現在で約四〇〇人

議員 特別養護老人ホーム入所者の要介護度別の人数と入所待機者数について伺いたい。

健康福祉部参事 十三年十一月末の入所者数は、四〇八人であり、要介護度別の内訳は、要介護一と二が二〇％、要介護三と五が八〇％である。また、入所待機者は、十三年十月現在で約四〇〇人

議員 特別養護老人ホーム入所者の要介護度別の人数と入所待機者数について伺いたい。

健康福祉部参事 十三年十一月末の入所者数は、四〇八人であり、要介護度別の内訳は、要介護一と二が二〇％、要介護三と五が八〇％である。また、入所待機者は、十三年十月現在で約四〇〇人

議員 特別養護老人ホーム入所者の要介護度別の人数と入所待機者数について伺いたい。

健康福祉部参事 十三年十一月末の入所者数は、四〇八人であり、要介護度別の内訳は、要介護一と二が二〇％、要介護三と五が八〇％である。また、入所待機者は、十三年十月現在で約四〇〇人

議員 特別養護老人ホーム入所者の要介護度別の人数と入所待機者数について伺いたい。

健康福祉部参事 十三年十一月末の入所者数は、四〇八人であり、要介護度別の内訳は、要介護一と二が二〇％、要介護三と五が八〇％である。また、入所待機者は、十三年十月現在で約四〇〇人

議員 特別養護老人ホーム入所者の要介護度別の人数と入所待機者数について伺いたい。

健康福祉部参事 十三年十一月末の入所者数は、四〇八人であり、要介護度別の内訳は、要介護一と二が二〇％、要介護三と五が八〇％である。また、入所待機者は、十三年十月現在で約四〇〇人

議員 特別養護老人ホーム入所者の要介護度別の人数と入所待機者数について伺いたい。

健康福祉部参事 十三年十一月末の入所者数は、四〇八人であり、要介護度別の内訳は、要介護一と二が二〇％、要介護三と五が八〇％である。また、入所待機者は、十三年十月現在で約四〇〇人

高齢社会支える介護保険制度 特養増える入所待機者にどう対処 ホーム

負担等の増大につながるという財政上の問題、また、長期に及ぶ施設生活者が多く出てくるという懸念がある。真に人が必要な方を正確に把握し、基本的には在宅介護を中心とした介護保険制度の定着を図っていききたい。

議員 特別養護老人ホームに介護保険制度の定着を図っていききたい。

議員 特別養護老人ホームに介護保険制度の定着を図っていききたい。

は、特別養護老人ホームの入所待機者の問題等も含め、現計画で設定した具体的な目標値に対する実績の評価分析を行い、高齢者の方々のニーズを満たすサービスが質・量の両面で確保されているか、十分見極めながら基盤整備・環境整備等について計画策定を進めていく。特に、要介護者の増加が一段と進むことが予想されるので、第二号被保険者の保険料への影響が大きい施設整備をどこまで進めていくかが課題になる。

は、特別養護老人ホームの入所待機者の問題等も含め、現計画で設定した具体的な目標値に対する実績の評価分析を行い、高齢者の方々のニーズを満たすサービスが質・量の両面で確保されているか、十分見極めながら基盤整備・環境整備等について計画策定を進めていく。特に、要介護者の増加が一段と進むことが予想されるので、第二号被保険者の保険料への影響が大きい施設整備をどこまで進めていくかが課題になる。

は、特別養護老人ホームの入所待機者の問題等も含め、現計画で設定した具体的な目標値に対する実績の評価分析を行い、高齢者の方々のニーズを満たすサービスが質・量の両面で確保されているか、十分見極めながら基盤整備・環境整備等について計画策定を進めていく。特に、要介護者の増加が一段と進むことが予想されるので、第二号被保険者の保険料への影響が大きい施設整備をどこまで進めていくかが課題になる。

は、特別養護老人ホームの入所待機者の問題等も含め、現計画で設定した具体的な目標値に対する実績の評価分析を行い、高齢者の方々のニーズを満たすサービスが質・量の両面で確保されているか、十分見極めながら基盤整備・環境整備等について計画策定を進めていく。特に、要介護者の増加が一段と進むことが予想されるので、第二号被保険者の保険料への影響が大きい施設整備をどこまで進めていくかが課題になる。

は、特別養護老人ホームの入所待機者の問題等も含め、現計画で設定した具体的な目標値に対する実績の評価分析を行い、高齢者の方々のニーズを満たすサービスが質・量の両面で確保されているか、十分見極めながら基盤整備・環境整備等について計画策定を進めていく。特に、要介護者の増加が一段と進むことが予想されるので、第二号被保険者の保険料への影響が大きい施設整備をどこまで進めていくかが課題になる。

地域福祉の活動拠点

町内福祉村

全地区の開設めざす

議員 町内福祉村は、地域福祉の活動拠点として、松原、港、花水の三地区で開設し活動が行われているが、全地区に開設する考えを聞きたい。

健康福祉部長 「町内福祉村構想モデル事業」は、総合計画改訂基本計画第一次実施計画に位置づけ、三年間で三地区の福祉村を開設した。第二次実施計画では「町内福祉村推進事業」として位置づけ、地域住民と行政の協働により、順次、全地区へ開設していく予定である。

議員 新たに開設するための条件としては、どのようなものがあるのか。

健康福祉部長 第一、実施計画では、市がモデル事業としてふさわしい地域を選定し、地域と協働

し設置してきたが、第二次実施計画では、市が地域を選定するのではなく、設置を希望する地域と市が協議し、可能な地域から設置を進めていく考えであり、事前に特別な条件を設定する考えはない。

議員 開設に向けた今後の課題について伺いたい。

健康福祉部長 今後の開設に当たっては、拠点の確保と地域が必要としているサービスの提供、それに伴う地域内の実施体制づくりが重要であり、事前に設置を希望する地域と十分協議をしていきたい。